



令和7年度第6回全解工連 青年部会ブロック代表者会議議事録

日時：令和8年2月24日（火）14：00～14：40	リモート会議
○出席者	
東北・北海道ブロック 小野智司（宮城県） 後藤重喜（山形県） 関東ブロック 杉山卓之（東京都） 久野雄紀（神奈川県） 北陸ブロック 清田典廣（石川県） 中部ブロック 酒井健吉（岐阜県） 近畿ブロック 平山雅弥（大阪府） 中国・四国ブロック 仙波泰三（岡山県） 九州・沖縄ブロック 黒圖謙人（福岡県） 古閑元気（熊本県） ○事務局 周藤 学、庄司英利	
○協議事項	
第1号議案 国際 建設・測量展（CSPI）について 第2号議案 会報誌「メビウス」への寄稿について 第3号議案 自由民主党青年局との意見交換会について	
○資料	
資料7-3-1 全解工連 青年部会員名簿（令和8年2月24日現在） 資料7-3-2 国際 建設・測量展（CSPI）出展第2回実行委員会議事要旨他 資料7-3-3 会報誌「メビウス」への寄稿依頼及び参考資料	
会議成立報告	
定刻の14時00分に至り、庄司事務局長が出席状況・資料を確認し、ブロック代表者10名全員の出席があるので青年部会ブロック代表者会議が有効に成立したことを議場に報告した。それを受け、酒井健吉部会長が開会の挨拶を行った。	
議長及び議事録署名人の選出	
議場に議長の選出及び議事録署名人の選任を諮ったところ、酒井健吉部会長とすることを代表者全員一致で決議した。	
[報告事項] 各ブロック青年部会の活動状況について	
協議事項に入る前に各ブロックの活動状況について報告した。 【酒井議長】：「中部ブロック青年部会は2月19日に愛知県で開催し、現在のブロック代表者会議の活動状況等を報告した。」 【小野副部会長】：「2月25日に親会の東北・北海道ブロック会議があり、その中で青年部会に対しての予算措置等の支援体制を協議してもらう予定である。」 【久野副部会長】：「関東ブロック青年部会は、3月17日に2回目の対面の会議を開催する。今後の活動方針及びDe-1グランプリやCSPIについての係わり方等について協議する。」 【杉山代表】：「(一社)東京建物解体協会でも青年部会を立ち上げる方向で調整している。」 【清田代表】：「北陸ブロック青年部会は3月中旬から下旬で会議を開催する予定である。また各県の青年部会設立についても、親会と協議していく。」	

【平山代表】：「近畿ブロック青年部会は夏ごろまでに懇親会を開催する予定である。De-1 グランプリへの協力体制についても協議していく。」

【仙波代表】：「中国・四国ブロック青年部会は、現在岡山県にしか青年部会員がいないので他県に参加を働きかけていく。当面は岡山県の若手会員を糾合して引っ張っていく。」

【黒圖副部長】：「九州・沖縄ブロックは今後の方針等が決まっていないので、熊本県の古閑代表と共に早急に協議していく。De-1 グランプリへの青年部会の係わり方は明確になっていない部分があるので、状況が分かり次第情報共有していく。」

[協議事項] (1) 国際 建設・測量展 (CSPI) について

【酒井議長】：「令和 8 年 2 月 4 日に CSPI 出展第 2 回実行委員会が開催され、杉山代表・清田代表・仙波代表と共に参加した。資料 7-6-2 は会議の議事要旨等であり、青年部会としては集客について全面協力することとなった。会期は 6 月 17 日 (水)～20 日 (土) の 4 日間であり、協力体制について協議したい。1 案は会期の 4 日間をそれぞれ各ブロックに割り振り 1 日ずつ対応するというものである。例えば 17 日は東北・北海道ブロック、18 日は北陸ブロックと中部ブロック等で担当するという形である。もう 1 案は、特定日に全国の青年部会員が一堂に会するというものである。意見を伺いたい。」

【古閑代表】：「せっかくの機会なので全国の青年部会員が一堂に会した方が良い。」

【平山代表】：「同意見である。」

【仙波代表】：「(仮) 全国大会のような形が良いのではないか。」

【久野副部長】：「特定の日に青年部会員が集まった場合、その他の日の担当はどうなるのか。」

【庄司事務局長】：「青年部会が特定日に集合するというのであれば、他の日は関東ブロックに協力への協力呼びかけを事務局で行う。」

協議の結果、6 月 17 日 (水) に全国の青年部会員を結集すること、17 日の展示会終了後に意見交換会を開催することを代表者全員一致で決議した。

[協議事項] (2) 会報誌「メビウス」への寄稿について

議長の指示により、庄司事務局長が資料 7-6-3 に基づき、会報誌「メビウス」への寄稿について説明した。

【庄司事務局長】：「資料 7-6-3 は会報誌「メビウス」への酒井部長宛の寄稿依頼及び参考資料である。メビウスは年 4 回発行しており、その中に技術・安全委員会のページを設けて、委員に持ち回りで寄稿いただいている。それと同様に青年部会のページを新設して、ブロック代表者持ち回りで寄稿をお願いしたいという編集側の要望である。協議いただきたい。」

【酒井議長】：「1 回目は 4 月号で酒井宛に依頼を受けて、現在原稿の準備をしている。青年部会でぜひ協力したい。」

協議の結果、会報誌「メビウス」で青年部会のページを新設し、ブロック代表者持ち回りで寄稿していくことを代表者全員一致で決議した。

[協議事項] (3) 自民党青年局との意見交換会について

【酒井議長】：「令和 8 年 1 月 30 日に予定していた自由民主党青年局と全解工連 青年部会ブロック代表者との意見交換会は、ご承知のように衆議院の解散及び総選挙の実施により延期された。選挙も終わり、改めて開催に向けて日程調整を行いたい。自由民主党青年局からは、4 月か 5 月の開催を打診されている。」

協議の結果、自由民主党青年局との意見交換会開催に向けて日程調整することを代表者全員一致で決議した。

[その他]

その他について議長が議場に諮ったところ以下の発言があった。

【庄司事務局長】：「令和 7 年 12 月 16 日の理事会で、役員選出規程が改正され、理事会が青年部会長を理事に推薦できることとなった。本年 6 月 5 日の全解工連総会において役員改選が行われ、その時に青年部会長が理事に推薦される予定である。青年部会は昨年発足し、ブロック代表者の互選で決定した青年部会長の任期は 2 年となっていて、全解工連理事との任期のずれが生じる。従って任期ずれ解消のため、総会までに現在の部会長及び副部会長は辞任して再度選任し直すという方向で検討いただきたい。」

【周藤事業部長】：「ブロック青年部会の中には、全正会員から部員が選出されているところもあるが、一部の正会員からしか出ていないところもある。全正会員から青年部会員が選出されるように働きかけをお願いしたい。」

以上において全ての協議が終了し、14 時 40 分に議長の閉会宣言によって令和 7 年度第 6 回全解工連 青年部会ブロック代表者会議を閉会した。

以上の議決を明確にするため、議長がこれに署名する。

令和 8 年 2 月 24 日

令和 7 年度第 6 回全解工連 青年部会ブロック代表者会議

議長 酒井健吉